

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援 愛		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 16日		～ 令和 8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 16日		～ 令和 8年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心し、楽しめるような環境づくりを心がけている。	活動がマンネリ化しないよう、職員間で話し合い、新しい活動、行事を取り入れるよう工夫している。 また利用者が楽しんでいた活動は個々の活動に取り入れるようにもしている。	昨年から事業所内での活動行事のほかに、外出行事も取り入れて利用者の活動の幅が広がるよう工夫している。 本年も利用者の体調に配慮しながら、1年を通じてお出かけ行事を実施予定。
2	ドア to ドアでの送迎支援及び、それにより、ご家族と直に話すきっかけ、時間が、ある程度確保できていること。	ご家族からお話があったことは管理者への報告、また翌日の会議の時間での職員への申し送り及び話し合い、意見交換等も行うことで、より良い方法を模索するよう心がけている。 また事業所専用LINEも設けており、ご家族へのお知らせやご家族からのご連絡等、やり取りをしやすい環境ができています。	
3	入浴支援の開始により、主に土曜、祝日にご利用いただける点。利用者のQOLの向上に繋がると共に、ご家族の負担軽減につながる。	リネン代をいただくことで、ご家族の負担を減らす為、入浴支援に必要な物品等は事業所で用意している。 脱衣所に専用のエアコンがあり、入浴する もしくは された利用者の身体が冷えないよう、調整をしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	見守りを重視し、あらゆる方向から見やすくする為に壁ではなく、パーテーションでの仕切りを使用した為、厚生労働省が定める基準は満たしているものの、個室のような場所がないこと。	利用者の心身の体調に応じて、手作りのパーテーションを使用して個室のような空間を一時的に作ったり、脱衣所をスヌーズレン室に切り替えることができるため、そちらの部屋を使用しているが、見守り支援も必要になるので、完全な個室にはならない。今後も工夫が必要。	
2			
3			